



# Rotary Weekly



## 広島空港ロータリークラブ週報

2019年9月19日発行

会長 佐々木正親 / 副会長 熊谷祐司 / 幹事 川本吉則 / SAA 伊藤佳子  
事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

2019-20年度

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

国際ロータリーテーマ

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
7日公式訪問      例会      休会 公式訪問      休会

本日のプログラム (9月19日)

**晝田ガバナー公式訪問**  
**竹原RCと合同 大広苑にて**

次のプログラム (10月2日)

**戸田 静雄 様**

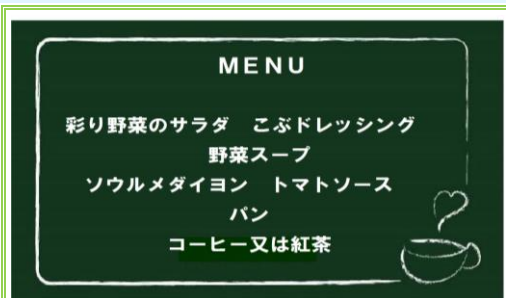
### 第1163回 2019年9月11日 例会記録

点 鐘 佐々木会長  
ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ロータリアンの行動規範唱和

#### 出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (9/11)	29 1	16	5	6 2	77.78
メイク	灰谷・伊藤佳子・小島・重森・乗越				
前々回 (8/28)	29 1	20	3	4 2	85.19
メイク	灰谷・熊谷・鶴田幸彦				

#### 食事時間



#### 報告事項



**奉仕プロジェクト委員会**  
**国際奉仕部門 楠部リーダー**

国際奉仕部門で東南アジアの国々を理解しようという事で、前回はどのようにベトナムが独立を勝ち取っていったのかという内容でしたが、今回は共産化を恐れるアメリカが介入してきた内容のDVDです。ご覧ください。



#### 第5回目 ベトナム問題



#### 9月委員長時間

**財団委員会 河井委員長**



我がクラブは、今年4月に創立25年を迎えました。30名弱の小さなクラブですから、ロータリー財団の補助金を活用し、2001年度から地域社会に根ざした社会奉仕に取り組んでまいりました。

本年度は、地区特別補助金を申請し、こども食堂を実施している高美が丘こども塾「竹の子」に炊事用具を寄贈いたします。本日17時より現地で贈呈式を行いますので、よろしくお願ひします。

また、次年度も引き続き申請をしたいと思っておりますので、援助を必要とされている所がございましたらお知らせください。ご参考までに、2710地区の本年度のプロジェクトをご紹介します。

# 国際ロータリー第2710地区 2019-20年度地区補助金プロジェクト

No	クラブ	担当	プロジェクト名
01	下関西	三宅	下関市立市民病院小児科病棟に絵本(まちあい文庫82冊)と緩和ケア病棟に書籍(まちあい文庫シニアライブラリー42冊)本棚2台を寄贈する
02	長門	三宅	長門市障害者支援施設あけぼの園に障害者専用ニュースポーツ用品15点を寄贈する。
03	福山西	三吉	視覚障害者の為、音響式信号機(沖野上4丁目西交差点)1基を寄贈する
04	下関北	三宅	社会福祉法人下関市社会福祉事業団下関市こども発達センターに車載用座位保持具(園児用)を4台寄贈する
05	三原	藤本	障害者や高齢者用に、一般財団法人中央森林公園協会へ無料貸し出し用車椅子5台を寄贈する
06	広島城南	古澤	広島市立広島特別支援学校へのプロジェクター1台とバルスオキシメーター3台の寄贈及び贈呈式・交流会を実施する
07	呉南	古澤	知的障害児・者の自信や活力になるように呉市手をつなぐ育成会にフォーディングテーブル6台・幕板6台・会議イス18脚・シュレッダー1台・コーヒーメーカー1台・マイコン沸騰ポット1台を寄贈する
08	柳井	八百谷	特定非営利法人松久会就労継続支援(B型)指定福祉サービス事業所やなぎ園の作業場に、エアコン1台を寄贈する
09	三次中央	小田	三次市社会福祉協議会に車椅子14台を寄贈する
10	防府北	白石	一般社団法人あすびと福島南相馬ソーラー・アグリパークの作業場にロボット草刈り機1台を寄贈する
11	宇部	松本	社会福祉法人光栄会「児童発達支援センターうべつくし園」に療育支援のための運動用具「ジャンピングシート」および「屋内用ソフトマット」各一台を寄贈する
12	広島安佐	松井	社会福祉法人広島市社会福祉事業団広島市こども療育センター育成園に砂場テーブル知恵の台2台、SI用ソフトマット1台、安全ソフトブランコ2台を寄贈する
13	広島安芸	松井	社会福祉法人児童養護施設似島学園所有通園通学船少年丸の空調用ディーゼル発電機老朽の為、発電機を1台寄贈する
14	福山南	川本	発達障害のある児童の支援を実施している福山市放課後等デイサービス施設じゃんぐるぶらには安全マット5枚及び筒型遊具1個を寄贈する
15	広島東南	古澤	広島市立広島市民病院へ外来化学療法を受けているがん患者の在宅医療関連機材等(化学療法向けのベッド、がん患者の在宅医療・介護用ベッド一式)を寄贈する。
16	周南西	森本	社会福祉法人仁泉会特別養護老人ホームやすらぎ苑に車椅子2台・フルリクライニングチェア2台・車椅子用体重計1台を寄贈する。
17	福山	川本	特定非営利活動法人神迎育成会へ障がいを持つ子どものためのフィットネスシーソーおよびネットハンモックを一式寄贈する
18	広島西南	古澤	社会福祉法人「広島ひかり園まごころ」へ電動ベット3台及び移動式リフト1台を寄贈する
19	防府	森本	障害者就労支援施設社会福祉法人心促協会園の作業場に作業台13台を寄贈する
20	広島南	古澤	モンゴル国国立第3病院への呼吸機能検査機器1台を寄贈する
21	広島北	松井	発達障害児童の支援を実施している特定非営利活動法人安芸ソーシャルサポートの会にスクリーン及びプロジェクター1台を寄贈する
22	広島中央	松井	広島県立広島中央特別支援学校の高等部の生徒に、学業支援用具として、点字・立体イメージプリンタ1台、プレクストーク1台、書架2台の寄贈と交流会を実施する
23	江田島	山本	江田島市に在住している言葉、習慣、地域に馴染めない等問題を抱えた外国人市民に対し、日本語教育、交通ルール指導、悩み相談等の事業を実施する
視01	広島東南	古澤	ルサカ地域にあるザンビア最大の難民居住区、北西部州ソルウェジ郡メヘバ難民居住区D地区の住民に対し、アクセスの改善、給水設備の設置を行うための現地調査
視02	福山西	三吉	ネパールの貧困に苦しむ精神障害者救済シェルター(NepalCaringLap)へ、プロジェクトの実現可能性調査
視03	周南西	蔵清	スリランカは、26年にも及ぶ内戦、及び多額の国家債務のため、インフラ整備が急務の状況にある。今回は、6つの重点分野の中で、水と衛生分野をテーマとして、自治体施設、学校、病院等を専門家に同伴してもらい、調査する
視04	呉南	山本	フィリピン共和国アンヘルズ市における、低所得者層の5才以下乳幼児の栄養状態の改善及び母親の育児教育、妊婦と子供のケア・栄養に携わる保健師、看護婦、ヘルスワーカー、助産師の教育、能力の向上を目的とした現地の実情調査

特01	岩国西	八百谷	子ども食堂を実施している岩国市のNPO法人とりでに大型冷蔵庫と運営に必要なパソコンとプリンター各1台を寄贈する
特02	岩国	八百谷	岩国市周東町における豪雨災害被災地支援の為、ブルーシート200枚と土嚢3,000枚を被災地の、岩国市周東町総合支所に寄贈する
特03	岩国中央	森本	ゆうあい子ども食堂に、調理器具、エプロン20枚、ユニフォーム10着、バッチ1台を寄贈する
特04	呉南	山本	豪雨災害で被災した呉市地域支え合いセンターにミラリスピーカーMoby2セットを寄贈する
特05	福山西	三吉	ネパールの貧困に苦しむ精神障害者救済シェルター(NepalCaringLap)へ、食料品、医薬品等を支援する
特07	光	蔵清	豪雨災害で被害を受けた、光市内障害を抱える児童を預かる「放課後等デイサービス事業所」14か所に教材・図書・玩具を寄贈する事業と子供たちの笑顔を取り戻すイベント開催
特08	福山赤坂	三吉	赤坂地区豪雨災害被災地区へ発電機4台を寄贈する
特09	広島空港	藤本	子ども食堂を実施している高美が丘子ども塾「竹の子」に炊事用具(オーブンレンジ・魔法瓶・オーブントースター・カセットコンロ各1台・鍋2個)を寄贈
特10	周南西	蔵清	スリランカ・カルタラ県ホラナの学校の古井戸を改修し、タンクからの水道設備、トイレの改修工事を実施する
特11	下関中央	三宅	子ども食堂を実施しているNPO法人「皆賢(ミナツナギ)」に教科書と参考書65冊、書庫1台、食器棚1台を寄贈する
特12	広島西南	古澤	母子寡婦福祉会などが開催している川内にこここ食堂への冷蔵庫1台寄贈と交流会
特13	西条	山本	東広島市権利擁護センターに、被災地見回りの為の軽自動車(中古車)1台を贈呈する
特14	東広島	山本	豪雨災害で被災した東広島市地域支え合いセンターに事務用備品(机2台、椅子2台、iPad1台、キャビネット4台)を贈呈する
特15	広島安芸	松井	NPO法人FOOT&WORK(フットアンドワーク)が運営する子ども食堂へ調理器具(冷蔵庫1台、炊飯器2台、食器棚2台)及び子ども達の療育(感覚統合)を行うための器具(ブロック)2セットの寄贈と交流会
特16	宇部西・宇部	松本	宇部市の子ども食堂みんなや食堂に業務用オープン1台寄贈する
特17	福山丸之内	川本	そらまめ子ども食堂に運営に必要な食器洗剤30個、ラップ130個、ハンドソープ50個、フードバッグ50個、お菓子等を贈り交流会を開催
特18	因島	藤本	豪雨災害で崩れたまま危険を伴う、尾道市立重井小学校通学路復旧工事
特19	尾道東	藤本	鳥つこども食堂に調理器具一式(ガス炊飯器1台、ガスコンロ1台、保温庫1台、配膳カート1台)を寄贈する
特20	尾道東	藤本	子ども食堂みなりはらべレストランに調理器具(ホットプレート1台、ガスオープン1台、トレー)と食器等(ランチ皿、トレー50枚、衛生用品)を寄贈する
特21	瀬戸田	藤本	豪雨災害で崩れたまま危険を伴う、尾道市立瀬戸田小学校通学路復旧工事
特22	尾道	藤本	豪雨災害で崩れたまま危険を伴う、尾道市立山波小学校通学路復旧工事
特23	尾道	藤本	子ども食堂を実施するNPOゆめゆめらに制作室にコーヒーメーカー1台、カセットコンロ1台、冷凍庫1台、オーブンレンジ1台、キッチン収納庫1台、トレイ10個、キッチンボード1台、キッチンカウンター1台と食器等を寄贈する
特24	広島陵北	古澤	豪雨災害被災の広島県坂町地区へ消火栓格納箱一式を8基寄贈する
特25	広島北	古澤	矢野の家が運営している子ども食堂へ電気工事(アンペア交換)とスーフウォーマー1台、折り畳みテーブル3台の寄贈と交流会の開催

## 広報委員会

新しい取り組みとして、会員の皆様のプライベートでの出来事・新しい発見・感動した出来事・会社のイベント etc…。**「今週のつぶやき」**として週報に載せてみませんか？会員皆様の素敵な場面を皆様に共有して楽しみましょう!!写真&コメントをお待ちしています！

## 幹事報告

《配布物》週報1162号  
 《回覧》第24回全国空港RCフォーラム in 成田  
 日時 2019年10月20日(日)  
 エクスカーション13:00~15:00  
 フォーラム16:00~17:00  
 基調講演 17:20~18:20  
 成田市長 小泉一成様(名誉会員)  
 懇親会 19:00~21:00  
 《お知らせ》10月2日、10月9日の例会日にバザーの品物を集めさせていただきます。どうぞご協力お願いいたします。

岡田雄幸 会員



「老後資産 2000 万円問題」

老後資産 2000 万円問題は、参議院選挙前に突然ニュースになりましたが、発端は金融庁金融審議会市場ワーキンググループの「高齢者における資産恵史・管理」についての報告書です。

65 歳から 95 歳の 30 年間に生活費が退職金と年金では不足。総務省の家計調査：「高齢夫婦無職世帯（夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の二人世帯）」の実収入と実支出の差▲55,000 円×12 ヶ月×30 年＝▲2,000 万円

こうした年金に関する問題を金融庁が出した背景には「将来年金だけでは生活出来なくなりますよ～」従って、今から「資産運用、財テクしましょう。」というメッセージが込められているのではないかと私は思っています。

年金の問題であれば厚生労働省がメッセージを出せばよいのですが、厚生労働省が出すと将来年金財政が枯渇するということが現実身を帯び社会問題となるから金融庁が出したとも受け取れます。

不都合な真実

①2022 年問題

団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）に達する

②2040 年問題

団塊世代と団塊ジュニア世代がすべて 65 歳以上の高齢者になるとともに人口減少によって 1.5 人で 1 人を支えなければならない時代になる。

社会保障費の総額（推計）＝190 兆円  
(2018 年の 1.6 倍)

40 年問題が現実的に

③そもそも「年金だけで老後は安泰ではない」ことは 30 年も前からわかっていたことですが、「不都合な真実」を国民は現実視してこなかった。

年金は 100 年安心？

小泉政権時代、坂口厚生労働大臣が「年金は 100 年安心」というキャッチフレーズで年金制度改革を断行

■保険料は 18.3%を上限に 2017 年まで段階的に引き上げ、それ以上上げない。  
■もらえる年金はモデル世帯（夫と専業主婦 2 人の基礎年金＋夫の厚生年金を受給する世帯）で現役世代の手取り収入の 50%を確保。

私たちの社会保険料は給料から天引きされる為、保険料率が年々上がっていることに気付いていない方もいます。手取り額が年々減少しているのは、その為です。

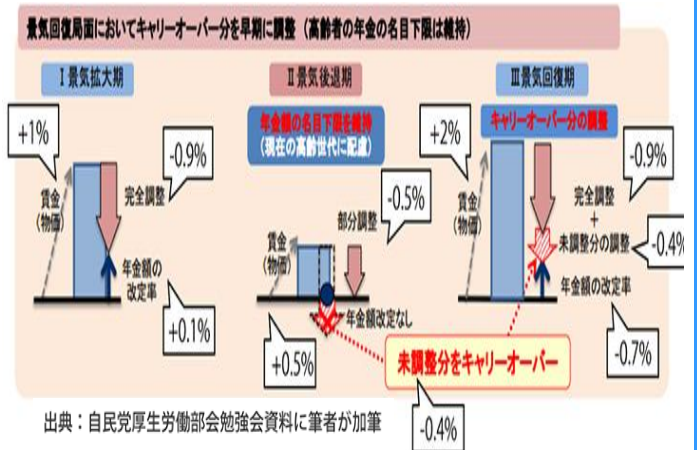
現行年金財政方式

年金は現役世代が納めた保険料をその時の高齢者の年金給付にあてる仕組み（賦課方式）。昔は 10 人程度の現役世代で 3 人程度を支えればよかったのが、現在は、3～4 人で 7～8 人程度を支えなければならない時代になっている。

過去に国民年金の保険料で蓄えた積立金を毎年取り崩して年金に充てられています。この積立金がいづつ枯渇するかが問題なのです。

マクロ経済スライドの仕組み

マクロ経済スライドのキャリーオーバー



その時の社会情勢（現役世代の人口減少や平均余命の伸び）に合わせて、年金の給付水準を自動的に調整

年金財政検証

2019年財政検証 主なケースのマクロ経済スライドによる年金水準削減

	経済成長率 (%)	所得代替率 (%)		国民年金 (基礎年金) 部分の削減率 (%)
		2019年度	収支が均衡して削減が終了する時点 (カッコ内は終了年度)	
ケース 1	0.9	61.7	51.9 (2046年度)	26.6
ケース 3	0.4		50.8 (2047年度)	28.0
ケース 4	0.2		46.5 (2053年度)	35.7
ケース 5	0.0		44.5 (2058年度)	39.8

※所得代替率＝モデル世帯(会員の夫と専業主婦の妻)の老齢年金受給開始時(65歳)における年金額の、現役世代の手取り収入額に対する割合

■ケース 1 では経済成長率を 0.9%と仮定した場合、マクロ経済スライドを 2046 年度まで発動することによって所得代替率を 51.9%維持出来るとする案です。一方、ケース 5 では、経済成長率が 0%だった場合、財政を均衡させるには 2058 年度まで抑制を続けなければならない、所得代替率は 44.5%に下がってしまうという試算です。

■会社員と専業主婦の 65 歳時点の年金月額が 2019 年時点で 22 万円となっており、現役の平均手取り賃金 35.7 万円を割ると所得代替率は 62%ということになります。こうしてみると所得代替率 50%を維持するためには、経済成長を持続していかなければならないということになります。

## 繰り上げ・繰り下げの損益分岐点

### ■受給開始年齢を繰り上げた場合の「損益分岐点」

	受給開始年齢	受給額		受取総額はこの年齢までに亡くなるまで得する
		年間	1カ月当たり	
5年繰り上げ	60歳	56万円	4万6667円	76歳8カ月
4年繰り上げ	61歳	60万8000円	5万667円	77歳8カ月
3年繰り上げ	62歳	65万6000円	5万4667円	78歳8カ月
2年繰り上げ	63歳	70万4000円	5万8667円	79歳8カ月
1年繰り上げ	64歳	75万2000円	6万2667円	80歳8カ月

### ■受給開始年齢を繰り下げた場合の「損益分岐点」

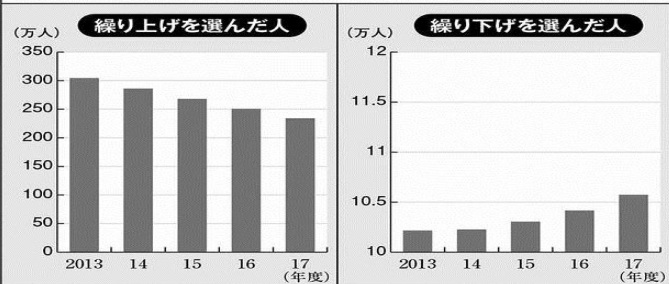
	受給開始年齢	受給額		受取総額はこの年齢まで生かれば得する
		年間	1カ月当たり	
1年繰り下げ	66歳	86万7200円	7万2267円	77歳10カ月
2年繰り下げ	67歳	93万4400円	7万7867円	78歳10カ月
3年繰り下げ	68歳	100万1600円	8万3467円	79歳10カ月
4年繰り下げ	69歳	106万8800円	8万9067円	80歳10カ月
5年繰り下げ	70歳	113万6000円	9万4667円	81歳10カ月

将来、年金財政が枯渇することのないように年金制度が改正されています。以前は60歳定年でしたが今は65歳へと段階的に延長されています。従って年金支給開始についても65歳が基本となっています。60歳に繰り上げて受給すると減額となり、70歳に繰り下げて受給すると増額になるという仕組みです。その損益分岐点を見てみると5年繰り上げて受給すると76歳8ヶ月が分岐点になります。

つまりこの年齢以上長生きすると損することとなります。一方、5年繰り下げて70歳で受給すると81歳10ヶ月以上長生きしないと損する事となります。

## 繰り上げ・繰り下げの選択

繰り上げ受給を選ぶ人は減り、繰り下げを選ぶ人が増えている



■繰り上げたのは、304万3973人（同38.6%）から234万1099人（同32.3%）へと減った。

■繰り下げを選んだ人は、13年度の10万2165人（全体に占める割合は1.3%）から、17年度の10万5727人（同1.5%）まで増えた。

### 年金は繰り上げ・繰り下げどっちがお得？

繰り上げの減額率は0.5%、繰り下げの増額率は0.7%  
従って

最大5年繰り上げると（0.5%×60ヶ月）30%の減額  
最大5年繰り下げると（0.7%×60ヶ月）42%の増額

1. 自分の寿命はだれにもわからない
  2. 自分のライフプランに合ったもらい方を考える
  3. 将来の生活費（収入・支出）を算出してみる
- いずれにしても、年金を当てにせず、健康に働き、もしもの時に備えて貯蓄をしておくことが賢明なのかもしれません。

## 地区特別補助金による贈呈式 9月11日17時～

こども食堂を実施している高美が丘こども塾「竹の子」に炊事用具（オーブンレンジ・魔法瓶・オーブントースター・カセットコンロ各1台・鍋2個）を寄贈



施設の中では、子供達が宿題を助け、ボランティアの大学生が教えておられ、別室では数名のボランティアの方々が手早く料理を作られていました。子供達の居場所を確保し親身な対応をされているボランティアの方々に感銘を受けました。

贈呈式では、商品の紹介が有ると子供達の喜びの声が聞こえ、私達も笑顔が溢れました。式の後、子供達と一緒にカレーを頂き、子供達やボランティアの方々と話をする中で、私は入会してまだ11か月ですが、RCの奉仕活動の意義が見えてきた気がしました。

広報委員会 委員長 兼田昌紀

## .....今週のつづやき.....

**9月7日(土)広島エアポートホテル開業26周年記念イベント「広島の森を舞妓はんがとる」を開催しました。2週間前には完売となるほどの人気でたくさんの方にお越しいただきました。当日は、私も気合を入れてテニムの着物で登場！好評につき、来年も開催を予定していますのでロータリーの皆さま誘い合わせの是非ご参加ください。（伊藤 保）**

